

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	法学研究科
<b>大項目</b>	<b>6 教育内容・方法・成果</b>
<b>中項目</b>	<b>6.3 教育方法</b>
<b>小項目</b>	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
<b>小項目</b>	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
<b>小項目</b>	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
<b>小項目</b>	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

## ○2009年度からの目標

1. 前期課程アカデミックコースの学生および後期課程の学生に対して、前期・後期課程一貫の計画的な研究指導計画を策定し、実施する。
2. 前期課程エキスパート学生に対する複数指導教員制（副指導教員制）を効果的に実質化するための方法を検討する。
3. 講義科目（特に前期課程エキスパートコース科目）に対する学生の履修期待と教育内容との整合性を確保するため、法学研究科に特有のシラバス・モデルの開発を図る。
4. 教育効果についての定期的な検証を実施するための手続を整備し、これを実施する。

## ○指標

1. 「前期・後期課程一貫研究指導モデルの策定」「前期課程アカデミックコース学生の研究計画書の作成」
2. 「前期課程エキスパート学生および教員に対する副指導教員制に対するアンケート調査の実施」「拡大大学院問題検討委員会における複数指導教員制の実質化についての検討」「副指導教員の指名数」「複数指導教員による教育効果の分析」
3. 「法学研究科シラバス検討委員会（仮称）の設置および法学研究科にふさわしいシラバスモデルの検討」「シラバスモデルの事前提示」「シラバスに対する学生の評価に関するアンケート調査の実施」
4. 「各年度における教育方法と効果に関する学生・教員アンケートの実施」「大学院教務学生委員・副委員等と学生代表からなるFD協議会（仮称）の設置」「拡大大学院問題検討委員会における教育効果に関する検討」「各年度における検討結果の研究科委員長への報告」